

「基礎英語 LEAD」を、リアルなコミュニケーションに役立てる

葛飾区立常盤中学校

今年度から「基礎英語 LEAD」及び「LEAD for Students」を導入してくださっている東京都葛飾区立常盤中学校で、7月に英語の全校イベントが開催されるということで、取材に行きまして。

イベントの企画者は平岡校長先生

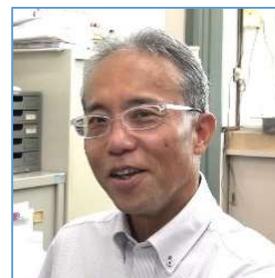
ロサンゼルスに住んでいる3人の高校生が日本にやって来ると聞きつけた平岡先生。常盤中学校に遊びに来てもらうようお願いしたそうです。

今回のイベントを企画した理由は？

生徒はALTと話をしたり、オンラインで英会話をやったりする機会はありますが、生の体験というか、手加減しない英語に触れる機会はなかなかありません。あとは、年齢が近い彼らに触れることに意味があるのかと思いました。

3人が来る前に生徒たちはどんな準備をしたのでしょうか？

「基礎英語 LEAD」上で自分が使いたい単語で検索をかけて、それがどのような文脈で使われているかを探し出し、そこで使えそうなフレーズを集めれば、自分が表現する時の参考にできるよ、と案内しました。



葛飾区立常盤中学校
平岡栄一校長

— 実際、授業以外で英語を使って話すのは初めて、という生徒がほとんど。生徒たちは、ロサンゼルスから来る3人に聞いてみたいことを考えたり、日本の文化を伝えられるように、それぞれ準備をしました。

★常盤中学校の皆さんには次のような「学校のことや日本語文化を紹介する表現を LEAD で検索するヒント」をお配りして、準備に活用していただきました。



特別編

～検索のヒント～ キーワードから探す

話したい内容が決まっている人は、**キーワード**を入れてピンポイントで例文を探すこともできます。

① 「自由検索」を選んで、「センテンス」を開く。

② キーワードを入力して、🔍 を押す。

➡キーワードが入った例文の一覧が出てくるので参考にしましょう。

各例文の横にある「スキットへ」を押すと会話の中での使い方を確認することもできます。



★おすすめのキーワード★

- ・自分の学校について紹介したい！ ⇒ 「our school」「Sports Day」「school trip」など
- ・伝統的なスポーツを紹介したい！ ⇒ 「sumo」「karate」「kendo」など
- ・日本文化を紹介したい！ ⇒ 「kanji」「anime」「Shibuya」など
- ・日本の食べ物を紹介したい！ ⇒ 「miso」「ramen」「okonomiyaki」など

※ここに掲載しているのは資料の一部です。ご興味のある方には別途資料をお渡ししますので、営業担当までお問い合わせください。

イベント当日の様子

平岡先生が3人をお出迎え。



2・3年生

各教室に学生が1人ずつ案内され、短い自己紹介の後、生徒たちからの質問を受けました。

生徒たちは「What kind of games do you like?」「What is your favorite American culture?」など準備してきた質問をしていました。

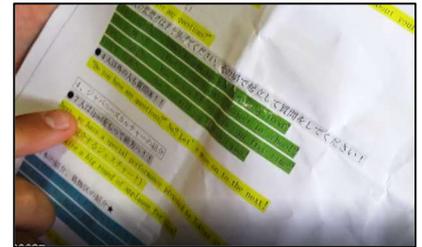


しかし、ネイティブスピーカーの話すスピードが速くて、答えを聞いても会話を続けるのはちょっと難しかった様子。しかし、学生の一人が自己紹介の中で“I play water polo and swim.”と言っていたのをきちんと聞き取って、「When did you start swimming?」と質問するなど、用意したものではなく、その場で考えて、一生懸命コミュニケーションを取ろうとしていました。

1 年生

1 年生は学年全体で歓迎セレモニーを実施しました。

生徒たちは事前に花火やお祭りといった日本の文化や屋台の食べ物に関するレクチャーやクイズを準備して、みんなで盛り上がりました。



お昼も一緒に食べて、すっかり打ち解けた様子でした。



イベント終了後、平岡校長にお話をお伺いしました。

イベントを終えていかがでしょうか？

(生徒たちは) 今日話してみても意外と通じると思ったり、もうちょっと練習しておけばよかったと思ったり、いろいろな思いがあると思いますが、そういったことが普段の授業とつながって、もっともっと練習して上手になって自己実現してもらったらうれしいかなと。



例えば自分がスポーツのことを話したいとか、その中でもバスケットボールのことを話したい、バスケットボールのこういったプレーについて話したいと考えた時に、どうしてもそれなりの語彙力が必要で、それはやはり事前に「英語で何て言うんだろう」というのを調べておかないとなかなか言えないと思います。そういう表現を LEAD を使って調べながら、普段の生活でもバスケットボールの中継を聞いたりしていくことによって、どんどん語彙力が高まって行って、その語彙力が他の内容にも応用できるようになる。そんな感じがします。

—— 具体的には「基礎英語 LEAD」をどんなふうに使ったらいいでしょうか。

(調べた表現を) 片っ端からリストに入れて、次々とスキットを聞いていって。例えば1日に最初は3つのスキットだったのが1日10個とか、もしかしたら100個ぐらいいけちゃうかもしれない。

そのぐらいやっていって、それが例えば3カ月とか1年間とかになればすごくいい。音声を聞くだけでも繰り返していった方がいいと思うんです。例えば最初に音声を聞いて、自分で音読したりして分からないなと思ったら、和訳をそこに表示して読んで、それでもう何回か聞いてみて、それで特に何か気になるフレーズを選んだり、関連する表現を調べてまとめたり、また音読したり。続けることです。

—— 今回のイベントをきっかけに生徒たちにはどんなことを期待しますか。

ALTが来る時とか、普段の授業も、もっともっと何か臨場感を持って練習した方がいいと思います。やはりまだ今日ぐらいの話しかだと、実際に通じないこともある。書かれたものを見ながらとか、タブレットをのぞき込みながらではなくて、自信を持って相手が10メートル離れていようが、30メートル離れていようが通じるように変えていかなくてはと思ったはず。だから、普段の音読とか発表の練習ももっともっとやってほしいです。あと読むスピードも、本当のネイティブスピードというのは、またちょっとALTとも段違いというか。でも、普段ああいうスピードで簡単な内容でもいいので、音読練習したとしたら、かなり聞き取れるようになると思います。

—— 今後「基礎英語 LEAD」や「LEAD for Students」に期待することはありますか。

これからもどんどんコンテンツを増やしていただいて、例えば、中学生高校生向けのさらに上級にも、いい番組がたくさんあると思うので、そういったものの検索できるようにしていただいて、より勉強しようという生徒が本当にどこまでもできるような、話したいことが、日本語と同じように、あるいはそれ以上、何でも英語で話せるようになる、そんな感じがあるといいと思います。

常盤中学校の皆さま、ご協力ありがとうございました！